

学校教育課長 様

神戸市立神港橋高等学校長

山下 哲朗



学校マネジメントプラン計画書

1 学校マネジメントプランの策定期間

平成28年度 ～ 平成30年度（3年間）

今年度は2年目

2 目指す学校像

「ひと」を「たから」ととらえ、神戸を愛し、支える「人財」を地域とともに育てる学校

3 中期経営目標と中期行動計画

「目指す学校像」の実現をより確かなものとするため、中期経営目標と中期行動計画を策定する。

中期経営目標	中期行動計画
神戸の魅力を知り、将来の神戸を担う人財の育成	○神戸を中心とした産学民公の連携を積極的に推進する中で、国際的な視野を広げていくとともに、様々な観点から課題解決に向けた実践的な方法を学ぶ。
思いやりや礼節を重んじ、職業人としての責任や倫理観を持って行動できる人財の育成	○総合的な学習の時間をはじめ、学校全体を通して課題解決型道德教育を推進する。 ○商業科目の学習を通じた商業道德教育の充実。 ○授業規律及び規則正しい学校生活の確立。 ○MSCを中心に3年間を通じた計画的・系統的な道德教育を推進。
社会の変化に対応できる専門知識・技能や柔軟性をもった人財の育成	○1年生では、簿記は、少人数授業の実施。情報処理は、1学期はTT、2学期は目標別に分かれて展開する。 ○2年生では、「会計類型」と「情報類型」を設定して専門性を深める。 ○3年生では、選択科目を配置し進路や興味関心に応じて科目を選択する中で専門性を深める。
異なる文化や人権を尊重し、国際的な視野をもって積極的に活動できる人財の育成	○総合的な学習の時間をはじめ、学校教育全体を通して人権教育を推進する。 ○学校設定科目「e-Challenge」では、少人数制でタブレット型PCを用いたe-learningの展開、中学校英語の学び直しと高校英語への興味関心を喚起し、基礎的な英語力を定着させる。

4 重点目標と行動計画

重点目標	行動計画	評価指標
魅力ある授業づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的・系統的な指導計画の作成 	全教科・科目において <ul style="list-style-type: none"> ・目標の明確化 ・年間指導計画の作成 ・3年選択科目のシラバスの作成
	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に準拠した観点別評価の実施 ・指導と評価の一体化の推進 	全教科・科目において <ul style="list-style-type: none"> ・評価規準を作成 ・授業研究の推進 ・形成的評価の重視
	<ul style="list-style-type: none"> ・「分かる授業」「力のつく授業」の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数授業、目標別授業の展開 ・ICT機器の活用 ・授業アンケートの実施 ・高大民官の連携推進 ・3年間で3冠王100名以上を目指す
学校生活における規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な授業規律の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年と指導部の連携強化 ・道徳教育の推進 ・HR・学年集会の充実 ・ベル着の徹底
	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ・適切な身だしなみ・言葉づかい・清掃活動の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員による組織的な指導体制の確立 ・粘り強い指導態勢づくり
	<ul style="list-style-type: none"> ・3校併置の円滑な実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・統括教頭を中心に、綿密な学校間の情報交換 ・3校合同行事の実施 ・生徒会・生徒集会の確立
広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校訪問の充実 ・学校ホームページの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内（一部を除く）及び近隣地域の中学校を訪問し広報に努める ・タイムリーに記事を掲載
	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンハイスクール、学校説明会の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・8/22、23にオープンハイスクールの実施 ・11/3に学校説明会の実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校進路集会への講師派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校からの要請に応じて可能な限り、講師を派遣 ・適切かつ適正な情報発信